



「我々WEAは、WCCとの協力関係にある」

世界福音同盟が明らかに

「国民日報」

013.11.04 22:12

<http://p.tl/WUvc>

世界福音同盟(WEA)神学委員長であるトーマス・シャーマッター牧師は11月4日午前、釜山(プサン)BEXCOを会場として開催されたWCCの全体会議で「WEAとWCCはお互いに礼儀を尽くして親しく話し合う関係だ」と言いながら両団体の連帯感を強調した。

WEAは、来年10月に韓国で総会を開催する予定である。彼は「WEAは1846年、教会の連合と人権、特に当時大きな問題であった奴隷解放、福音の伝道、そして宗教の自由のために設立された」とし、「WCCとはすべての会議に相互に参加して深い理解を持っており、今日発表された宣教文書で強調している非倫理的伝道問題についても共感する」と明言した。

シャーマッター牧師は、会場周辺で行われているWCC反対集会に触れ、来年の韓国総会開催を主導するはずの韓国キリスト教総連合会(CCK)も、この反対集会に参加している

可能性があることに、強い関心を示した。彼は全体会議直後、記者に対し、「CCK が反対集会に参加したことが確認された場合、(来年の総会に関連して) 深刻な結果をもたらすことになる」とし、「現在は、正確な情報がない中で、CCK 側から反対集会とは無関係だとの回答を受けた」と明らかにした。

シャーマッハー牧師はこの日午後の記者会見でも、CCK と WCC 反対集会の関連性について、WEA 総務が事実関係を確認中だと明らかにした。しかし彼は「CCK は WEA と正式な協力関係にあり、その関係は今も変わっていない」としながら「韓国は今、WCC で注目されているだけに、今後の教会の連合のためにも韓国のクリスチャンと仕事を一緒にしたい」と述べた。

WCC と WEA の違いを問う質問に、シャーマッハー牧師は、「お互いにプラスの面を見ながら協力している」と答え、「加盟国ごとに歴史的背景と状況が異なるが、50 カ国では、WCC 登録教会と WEA 登録教会が重なり合っている」と説明した。

CCK 「これは WEA の公式立場ではない」と表明

一方、CCK 海外担当で WEA 東アジア本部代表のイ・ジョンウォン牧師は「CCK は WCC に反対している」と答え、「WEA に対して、CCK が WCC 反対集会と関係がないという回答をしたことはない」としながら「シャーマッハー牧師の発言は、WEA の公式見解ではないと WEA の広報部を通して表明した」と明らかにした。

[釜山=ギムジバン記者 fattykim@kmib.co.kr](mailto:fattykim@kmib.co.kr)